

大町病院を守る会会報

No. 32

2014 年 5 月発行

大町病院を守る会

発行責任者北村喜男



病院はなくてはならない大事な施設 (守る会第 5 回総会報告)

具体的な取り組み日程決まる

守る会第 5 回総会は 5 月 11 日、市役所東会議室で開催されました。塩原事務局次長の司会で始まり、松澤副会長の開会のことば、北村会長が挨拶を延べた後、総会議長に就任し進行しました。来賓の牛越市長、諏訪県議会議員、小林市議会議員、山田管理者、井上院長があいさつし、総会に花を添えました。議事では SBC テレビが放映した DVD「大町病院の危機と守る会」を視聴した後、25 年度経過報告を種山事務局長、決算報告を高橋次長、会計監査報告を内山監事が報告し質疑の後拍手で承認されました。続いて 26 年度事業活動案を種山事務局長、予算案を高橋次長から提案され賛成多数で決定されました。役員は全員が承認されました。(別掲) なお出席者は 54 名+委任状は 95 名でした。総会の後関口健二先生(総合診療科)による公開講演会が開かれました。

北村会長挨拶要旨

今年は、花壇の草取りや剪定、ありがとうメッセージの取り組みやイルミネーションなどを引き続き行い、新たに四季折々に医師、職員の皆さん家族と守る会の交流会、連合自治会との懇談会などを開催します。また病院の応援団として会員の拡大に力を入れていきます。住民と地域が存立していくうえで大事なインフラとしての大町病院を守ることは次世代の住民たちへの私たちに課せられた使命です。力を合わせがんばりましょう。

（１）事業活動報告

結成４年目の取り組みは、病院祭のお手伝い、役員体制の確立、公開講演会、医師・職員の歓迎会、医師・職員との懇親・懇談会、剪定作業、花の植栽、水くれ当番、ありがとうメッセージの取り組み、癒しのガーデニングとイルミネーション設置、地域懇談会の開催、県地域医療シンポジウムパネリスト招請への対応、会報の発行、会員の拡大などを行いました。また、財政的には市きらり輝く協働のまちづくり事業の助成を受けて３年が経過し、様々な活動に取り組みました。

会 議 等

四役会 ７回 幹事会 ４回 講演会 １回 地域懇談会 ２回

会員数 ２１０名 団体会員 ２５団体

（２）平成 25 年決算報告

収入の部

項 目	当初予算金額	説明	決 算	比 較
繰越金	34,782		34,782	0
個人会費	180,000		200,000	20,000
団体会員費	40,000		48,000	8,000
寄付金	20,000		5,000	－15,000
雑収入	5,218		50,175	44,957
助成金	500,000		500,000	0
合 計	780,000		837,957	57,957

支出の部

項 目	当初予算金額	説明	決 算	
謝 礼	200,000	謝礼	300,000	－100,000
使用料	40,000	懇談会場料	600	39,400
印刷費	50,000	会報	48,118	1,882
通信費	110,000	会報郵送料	143,745	－33,745
保険料	20,000	保険料	22,350	－2,350
消耗品費	310,000	用紙・インク・封筒・シール他	209,809	100,191
食料費	30,000	作業お茶代	15,803	14,197
予備費	20,000		18,421	1,579
合 計	780,000		758,846	21,154

837,957－758,846 = 残 79,111

残金 79,111 円は次年度へ繰越

（３）監査報告 内山監事より報告、承認

(4) 平成 26 年度事業計画・・・取り組み日程決まる、ずく出して多くの皆さんの参加を

新規計画に春・夏・秋・冬に職員と交流を企画

◇会員の拡大

◇四季の医師・職員家族との交流会

6/1 (日) 春・・・自然観察・山菜採りと山菜料理で交流…参加費・・・500 円

8/10 (日) 夏・・・地引網 (木崎湖キャンプ場) 午前 8 時～ 参加費・・・500 円

10/13 (月祝) 秋・・・キノコ狩りとキノコ汁 (大黒町有林) 参加費・・・500 円

2/(第 1 週)冬・・・雪遊び「スノーシュー、ソリ」(中山高原・ぐるったネットワーク)

参加費大人 1500 円程度 子供 500 円程度 (貸道具代・インストラクター代)

◇地域懇談会・講演会 (病院主催：守る会後援)

・公民館あて病院から設定依頼し、数か所で開催

・医師、新任医師などをお願いし講演と懇談会をセットで

◇連合自治会との懇談

◇新入職員歓迎会の後援

◇研修医などの歓迎会・・・病院大会議室で 1,500 円～2,000 円程度の会費制で

◇市制 60 周年記念公開講演会の開催

◇役員学習会

◇草取り 8/24 (日) 午前 6 時 30 分玄関前集合

◇剪定 10/26 (日) 午前 9 時玄関前集合

◇ありがとうメッセージの開扉

8/5 (火) 2/10 (火)

◇イルミネーションの設置・・・11/30 (日)

◇会報の発行



(5) 平成 26 年度予算は、助成金がない中で会費中心の運営をすることとなりました

収 入

(単位：円)

科 目	金 額	積 算 内 訳
繰 越 金	79,111	
会 費	250,000	
寄 付 金	50,000	
雑 収 入	889	
合 計	380,000	

支 出

費 目	金 額	積 算 内 訳
謝 礼	50,000	講師等謝礼（費用弁償込）
使 用 料	10,000	講演会、懇談会会場使用料、車両借上
印 刷 費	30,000	会報印刷、封筒印刷、議案書印刷
通 信 費	130,000	郵送代、ハガキ
保 険 料	10,000	ボランティア保険
消 耗 品 費	100,000	事務用品、花壇整備用品
食 糧 費	20,000	懇談会、医師懇談会、お茶、菓子代
予 備 費	30,000	
合 計	380,000	

平成 26 年度役員選出さる

会長：北村喜男 副会長：松澤郁子・海川明文 事務局長：種山博茂 事務局次長：塩原義夫・宮脇哲子・渋谷見博・高橋博久 幹事：（大町）磯貝匡弘・神社正幸・丸山令江子・松本武子・小林千恵子・黒岩良介・江津悌雄・柳沢英幸・（平）松尾忠久・太田美知子・（常盤）清水あさひ・中島節子・（八坂）（美麻）酒井隆芳・（白馬）篠崎久美子・田中栄一・（小谷）竹田保・（市職）山崎智・（病院労組）山崎智子・（体育協会）種山良治・（女団連）北沢愛子・（十日会）西山福重・（行政）勝野稔・（行政）鳥屋寿和・（病院）勝野健一・北澤一人・（大町北高）三村恵巨・監事：内山博・西沢忠司





関口健二先生（総合診療科）公開講演会に 100 名が参加

5月11日、第5回病院を守る会総会に引き続き関口健二先生の公開講演会が開催され、約100名の市民・会員が参加されました。演題は「大町病院と総合診療のイイ関係」と題して1時間半にわたり講演をいただきました。先生は総合診療医をコーディネーターと位置付け「地域の医師と密接に連携し、開業医が解決できない場面に直面した時、多臓器にわたる疾患で複雑な管理が必要とした場合が出番。内科スタッフと協働でこだわりを持った診療に当たる。まずは受け入れ、臓器や病気にとらわれず、全身、その人全体を診る。他職種で連携し高齢者に強いサービスを提供する。」とお話しされました。

庭木を剪定しました：守る会と十日会の皆さん

4月6日、守る会若手グループと十日会の皆さん10人余りで病院の東門わきにそびえる桂とイチョウの樹の剪定を行いました。3本の樹は伸び放題になっていましたが、きれいに整枝され、下に植えられているチューリップの花が日光を浴びてきれいに咲きました。



ペチュニア、クレマチスの花がプランターに

守る会は会員15名が集まり、5月10日(土)朝9時30分から病院玄関前で30個のプランターにペチュニアの苗80本とクレマチス4本を植えました。植えられたプランターは玄関前とロータリーの周りに並べられ、色とりどりの花が咲き病院に彩りを添えました。水くれは平日は病院職員、休日は守る会が受け持ちます。





作業終了後の参加者

シラネ葵、トロロ葵の種を配布

守る会有志は、病院入口のテーブルに山野草のシラネ葵とトロロ葵の種を配置し、自由に持ち帰り播種してもらいました。

◆山野草のシラネ葵は発芽から3年ほどで開花する宿根草。播種では種をもんでから播くと発芽率が高い。

◆トロロ葵は地温の上がる5月末～6月初旬にまきます。夏の早朝に黄色の大輪の花が一斉に咲きだします。食します。



昨年秋植えたチューリップが咲きました

昨年秋、守る会の花植えて、たくさんの方が病院の庭中に植えられました。その先鞭を切ってチューリップの花がロータリー花壇と東門花壇に一斉に花開きました。またロータリーでたくさんのオキナグサが咲き乱れていました。残念なことに白オキナグサ2本(写真)が行方不明になりました。行方について心当たりの方は連絡ください。育てた会員と患者、市民の皆さんが残念がっています。



福寿草今年も元気に玄関でお迎え

2月初旬大町病院の玄関に守る会から福寿草のプランター植えが贈られました。プランターは5株が寄せ植えされており真中の1株は赤い色の花が咲いていました。

日光を浴びた福寿草は黄金色に輝いて元気よく開いていました。病院に来られた方が覗き込んで眺めたり、写真を撮っている姿が見られました。



鈴木一浩先生ようこそ大町へ、「廃村研究で以前来たことがあります」

1月31日、大町病院で研修に来ていただきました鈴木一浩先生の歓迎会と慰労会が開かれ15人が参加しました。今回、新津副院長、高木副院長を先頭に医事課、検査室からも3人、守る会は仁科台中学校から2人の先生が参加されるなど、7人でお迎えしました。ジビエ料理とサムゲタンなど美味しい料理が並びました。鈴木先生は精神科医で、スキー、廃村研究などを趣味としておられ、大町にも何度か来られているとのことでした。酒も強いようでした。



渡辺裕哉先生「大町病院に来てください！！」台湾料理で歓迎会



4月18日、渡辺裕哉研修生が守る会メンバーと高木先生と病院スタッフの皆さん13名が参加し歓迎会を開催しました。渡辺先生は長野高校を卒業され信州大学医学部6年生で、外科を専攻されており、弓道は5段の腕前です。アルコールも強く、モテモテの好男子です。酒間では、大町の歴史や自然、地酒の話に花が咲き、最後は「大町病院に来てくださいね！」でお開きとなりました。この歓迎会にはこの4月入職した新人の西澤さん、横川さんが高木先生に誘われ参加しました。守る会では二條市議会副議長、神社市議ら7名が参加しました。

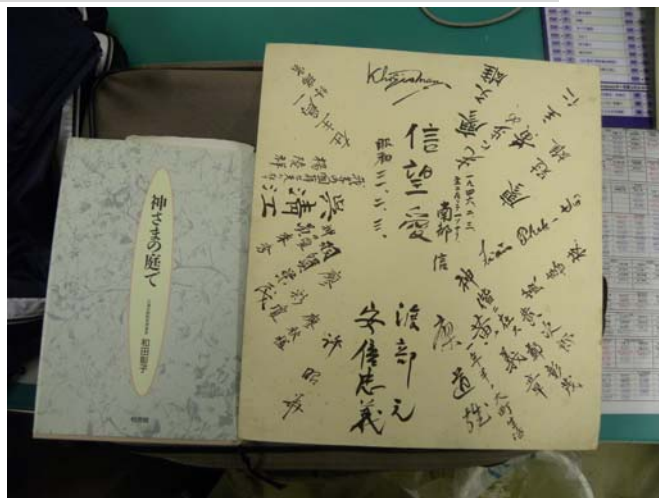
SBCテレビ特番「大町病院の危機と守る会」放映される

1月27日6時15分から、SBCテレビ「ニュースワイド信州」で、全国的に経営危機になっている小自治体病院の問題を取り上げ、守る会の運動を続ける大町病院の取り組みが15分間にわたり放送されました。「守る会」発足の発端となった地域懇談会での医師の講演や守る会が取り組む医師歓迎会や地域懇談会、イルミネーションの設置などを収録し、北村会長のインタビューにより15分に構成されたものです。医師不足対応と職員の士気高揚に守る会の存在は手助けとなったこと、厳しい状況の中新年度から、医師の増員で明るい見通しが出てきたことなどが紹介されました

第2次大戦中大町病院は台湾の大勢の医師で守られた

太平洋戦争時大町病院は日本人医師が戦地に送り出されたため、台湾からの医師5人が、大町町民の健康と命を守りました。その思い出を、和田彰子医師がまとめた本「神さまの庭で」と、台湾に帰国するにあたっての書き寄せした色紙1枚が市内の南部さんより守る会に届けられました。

この本には大町での診療生活や住民との人情あふれる交流がえがかれ、親切的な住民の姿と医師の熱心な医療活動が書かれています。



大町病院は総合診療科第6・第7診察室を増設



大町病院ではこの4月より信大との連携による総合診療科の充実のため、総合診療科に診察室2部屋を増設し、診療体制の充実をはかっています。

お知らせ

医師、職員家族と守る会の 交流会第2弾は地引網(木崎湖)

守る会は8月10日(日)朝8時半より木崎湖キャンプ場において、木崎湖漁業組合の協力を受け地引網大会を開催します。これは今年始まった病院職員と守る会の交流第2弾で、参加者を大募集します。お子さん連れでご参加ください。今回は地引網のほか森城址の歴史ガイドやなべが用意されます。おにぎり持参で参加ください。病院職員の皆さんはチラシをご覧ください。参加費は1人500円、当日集金です。地引網を引くためには100人前後の参加者が必要です。会員の皆さんも家族連れで参加ください。申し込みは種山事務局長 090-3093-2032 または次長高橋 090-4054-2747 まで。締め切りは7月31日(木)です。

特定健康診断をすすんで受けよう

大町市は健康診断を受ける割合が県下で最も低いことから 26 年度、40 歳以上の国民健康保険に加入している方の健診料金を 1200 円から無料にします。後期高齢者の皆さんはこれまでどおり無料です。早期検診により死亡率を抑え、医療費の抑制にもなります。集団検診は 1 時間以内に終わります。市民の都合を考えて、早朝、夜間、日曜日も実施し、自分の都合のよい時を選び受けてください。連絡しないでうけることができます。問い合わせは市民課国保年金係 22-0420（内線 4360）または中央保健センター23-440 まで。